

P T N A N E W S

ピティナ会員ニュース 2004.8-10

NHK 教育でピリスのマスタークラス放映、 福間洸太郎さんが出演

現在パリ留学中の福間洸太郎さんが、NHK教育で放映予定の「スーパーピアノレッスン」にて、マリア・ジョアン・ピリスのマスタークラス受講生として出演した。放映日は11月3日(水・祝) 90分間。



シヨンの幻想ポロネーズでの受講を終えて福間さんは、「ピアノをどう弾くか、曲をどう理解するか等の問題の前に、自分が音楽家としてどう生きるのか、どうやって障害を乗り越えていくか、よりパーソナルな問題を皆で議論するという、哲学的なマスタークラスでした。語られる言葉一つ一つに重みがあるにもかかわらず、いつも気さくで自然体なピリスさんは本当に素敵でした。カメラとピリスさんの存在に圧倒され、震える手で弾いていた私を止め、恐怖と不安を乗り越える様々なエクササイズを教わりました。それ以来本番前は必ず活用し、その効果を身に染みて感じます。」と語ってくれた。

フィナーレ・リーグレ国際コンクールにて、 第2位入賞

昨年に続き今年も第31回フィナーレ・リーグレ国際コンクールに御法川惠里奈(1993年C級全国進出/東京芸大2年在学/関孝弘先生師事)が第2位に入賞した。イタリアのフィナーレ・リーグレ市において8月18日~23日まで開催されました。昨年は竹田圭吾が第2位、その前に多賀谷裕輔さん、萩原麻美さんが、それぞれ第1位に入賞している。

大阪国際コンクールにて、大塚純子さんが 第2位受賞。他にもピティナっ子活躍

10月9日~11日にかけて行われた大阪国際コンクールにて、大塚純子さん(2001年アカデミック部門最優秀賞・93年D級ベスト賞/播本三恵子先生・長川晶子先生師事)が一般の部で第2位を受賞した。決勝にて、カール・ヴァインのソナタを熱演、高い評価を受けた。審査員は、中沖玲子、杉浦日出夫、播本三恵子、深澤亮子各先生ほか。

大塚さんは8月末に開催された長江杯国際音楽コンクールでも第1位、ならびに中国駐大阪総領事賞を受賞した。今春大学院を卒業、「目標を失ってしまっただけで、いくつかのコンクールにチャレンジしました。思いもかけず2つのコンクールで入賞させて頂き嬉しく思っております」と喜びの声を語ってくれた。なお来春4月24日(日)には、京都青山音楽記念館バロックザールにて、デビューリサイタルが予定されている(14時開演)。

また谷田部響さん(2004年F級本選進出/厚地和之・谷田部弘子各先生に師事)が、高校生の部で第2位を受賞した。

ピティナっ子が、第13回千葉音楽コンクール にて最優秀賞受賞

10月3日第13回千葉音楽コンクール本選が行われ、小金井まりさん(小3/2004年B級全国決勝大会出場/角野美智子先生に師事)が最優秀賞を受賞した。7月下旬に行われた第一次予選には494名が参加。8月上旬の第2次予選を経て、48名が本選に残った。その中で、小金井さんは、クーラウのソナチネハ長調Op.55-3全楽章を演奏し、全部門でただ一人選ばれる最優秀賞に輝いた。審査員は小林仁、深沢亮子ら各氏。

なお2002年同門下より、角野隼斗さんが同賞を受けている。

コンペ成績優秀者を学校で表彰

コンペ入賞者や成績優秀者を、全校集会で表彰して下さる学校が増えている。デュオ初級Aで参加した小屋敷梨花さん、大川莉奈さん(東日本デュオ本選進出)のお二人もその一例だ。二人が通う綾瀬市立寺尾小学校では、校長先生が校内表彰をして下さった上、本部に「このような貴重な機会を設けて下さってありがとうございます」とのお言葉を頂いた。こうした温かいご配慮は、参加者にとって大きな励みになるだけでなく、他の習い事やスポーツで頑張っている子も触発されることだろう。こうして生徒ともども学校も活気づき、そこにピティナが関係できることは大きな喜びである。